



豊島区立千登世橋中学校 学校だより

令和8年度第1号

令和8年4月9日

教育目標

- 自ら学び、深く考える生徒(知)
- 思いやりのある生徒(徳)
- 心身ともに健康な生徒(体)

令和8年度 学校経営方針

公立学校義務教育の果たす役割・使命を踏まえ、豊島区教育委員会の教育目標及び豊島区教育基本計画・豊島区教育ビジョン等の方針に基づき、本校の教育目標の実現に向けて、保護者や地域の信託に応える教育活動の推進を図る。

コミュニティスクールとして地域の信託に応える学校を目指す。「伝統を築く」時期と位置付けた4年目となり、2028年(令和10年)の開校30周年に向けた教育活動・各行事を本格的に推進していくこととした。

社会を生き抜く生徒の育成



<具体的に目指す生徒像>

「話せる生徒」「書ける生徒」の育成

「心」を感じ、「心」を読み、
「心」で動く生徒の育成



<そのための方策>



教科で特色ある授業づくりで実践

・「教え込む」授業から

「学びとる」授業の実践

- ①学習指導要領にある表現力の育成の視点に立つ授業(アウトプット重視)
- ②充実感・達成感・満足感のある授業

管理職が全面的に企画・推進

・「いのち・心の教育」の充実
発達段階に合った心の育成

- ①「健康・安全・防災・人権尊重」の意識向上の視点を行事や活動の柱に
- ②いじめ対策の徹底、リーダーの育成



模範となる教員の資質向上

- ①人権意識・防災意識・危機管理意識の向上を図る研修の充実
- ②生徒の「学びとる」力と表現力を育む授業力向上のための研鑽の徹底
- ③本校の「伝統を築く」時期を意識した行事や活動の一層の工夫改善への努力

進級・入学、おめでとうございます。
年度の初めにあたり、入学式式辞をお伝えします。



校長 小林 豊茂

令和八年度 第二十八回 入学式 式辞

皆さんの入学を祝福するかのように、さわやかな温かさの、桜の舞い散る春の日に、素晴らしい入学式を迎えることができました。

新入生の皆さん、並びに、保護者の皆様方、ご入学おめでとうございます。

ただ今、呼名させていただきました、128名の皆さんは、本日より千登世橋中学校の生徒として第一歩を踏み出されたわけです。心よりお祝い申し上げますと共に、私たち教職員、在校生一同、皆さんのご入学を心より歓迎申し上げます。

さて、新入生の皆さん、今日から三年間の中学校生活が始まります。不安、喜び、期待、今はいろいろな思いを抱いていることと思いますが、中学校生活に早く慣れて千登世橋中学校の生徒としての「自信」と「誇り」を持って学校生活を送って欲しいと願っています。

そこで、大きな希望や夢を持って、第一歩を踏み出した皆さんに二つのことをお話したいと思います。

その一つは、「良書を選んで読書に励もう」ということです。

読書は、習慣づいてないと、年配になってからは、なかなかできません。目も悪くなるし、忙しくなる。読んでも内容を忘れてしまう。若い皆さんには、今はわからないと思いますが、本当にそうなのです。何事にも、「時」があります。

まさに、子どもから、大人になろうとしている中学生のこの時期に、読書の習慣を身につけてほしいのです。内容も鮮明に脳に焼きつき、また、心にしっかりと刻み込まれるものです。きっと、ものの見方や考えた方を学ぶ経験となり、力がつきます。

「本の発明」は人類の歴史の中で、最大の発明の一つです。この発明品の「使い方」「楽しみ方」を覚えたら、人生は最大の武器を手に入れたようなものです。本は知識をくれる。本は感動をくれる。本は勇気をくれるのです。要するに読書は「心に栄養」を与えてくれるのです。

でも、体に栄養を与える「食べ物」も、甘いお菓子や、歯ごたえのない軟らかいものばかり食べていたり、好き嫌いを言い過ぎれば、病気になったりしてしまうかもしれません。同じように本も栄養のある良書を避けてはいけません。雑誌ばかりではいけません。難しくても文学や歴史書・小説などにも挑戦してください。こうして「良き本」を読む習慣を身に付けておけば、その人の人生に「希望」が消えることはないと思います。



二つ目に「両立する」ことについて話します。

中学校生活といえば、「勉強」と「部活動」や「習い事」との両立で悩むことが多いと思います。あるときは「部活動」や「習い事」に偏ったり、勉強に偏ったりすると思います。

皆さんは自転車に乗れますね。思い出してください。初めて乗る時も、右側に転んだり、左側に倒れそうになったり、したことでしょう。でも、ハンドルさえ手放さないで、あきらめずに努力すれば、やがてどちらにも倒れないで、バランスよく前に進めるようになったと思います。

「必ず、両立しよう」とまず決めることです。それぞれの自分の目標を達成しようと決意することです。そうすれば、限られた時間に、「どうやろうか」と知恵が湧くのです。時間がないからこそ、集中力がつくのです。「勉強」と「やりたいこと」を上手に自分で調整できるようになります。

新入生の皆さんは、中学校生活のスタートの今、「がんばろう」と誰もが決意していると思います。校長の私も応援します。先生方も在校生も応援しています。安心して一步を踏み出してください。

終わりにになりましたが、保護者の皆様には、お子様のご入学おめでとうございます。

三年間お預かりしてまいります。

私ども教職員一同、生徒一人一人の学力・体力の向上、そして豊かな心の育成に全力で取り組んでいく所存です。

今、私は、新入生に、「良書を選んで読書に励もう」「勉強と習い事や部活動を両立する」ことのお願いのメッセージを送りましたが、どうか保護者の皆様にも、お願いがあります。このことは、毎年お願いしておりますが、授業参観や保護者会などへの参加を、難しい年頃になり、嫌がる生徒もいるかも知れませんが、子どもを見守ることは、保護者の責任、学校と連携を深めるは、保護者の使命、との自覚をもって、できる限り来校いただいたり、PTA活動に参加いただけたりますよう、よろしくお願いいたします。

また、時に、いじめや体罰といったことが、社会問題化して取り上げられていますが、豊島区、そして本校もそのような行為は、断じて許すことなく不断の努力を持って教育指導に当たってまいります。不十分なこともあるかと思いますが、ご理解・ご協力いただけますよう、よろしくお願いいたします。

さあ、新入生の皆さん、中学生になった自覚をしっかりとって、楽しく充実した中学校生活をスタートさせましょう。

令和八年四月七日

豊島区立千登世橋中学校

校長 小林豊茂

